

平成25年度林業機械化推進シンポジウム

林業事業者と機械メーカーの 連携による作業システムの実証

わが国の人工林は本格的な利用段階を迎え、森林資源の一層の活用促進が求められています。林業は、わが国の地域経済・社会の基盤であり、地域の実情に応じた機械化により生産性を向上させ、国際競争力ある成長産業にすることが期待されています。同時に、作業安全の向上、労働負荷の軽減等も重要な課題です。これらの課題に対応するべく、先進的的林業機械の導入・改良や新たな作業システムの開発・実証等の取組みが各地で進められています。

本シンポジウムでは、わが国の様々な林業機械・作業システムを俯瞰するとともに、林業事業者と機械メーカーとの連携による作業システムの開発・実証の取組みについて情報提供を行い、機械化によるわが国の林業の競争力強化に向けた道筋を展望します。

平成 26年2月28日(金)

[時間] 10:30～16:00(開場 10:00)

[会場] 国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

[参加費] 無料(事前申込み制)

[定員] 500名

[主催] 林野庁 / 株式会社自然産業研究所



